

上福岡市・大井町合併協定調印式の記録

【日時】平成17年1月26日(水)午後6時

【会場】上福岡市勤労福祉センター

進行(合併協議会事務局長)

大変長らくお待たせいたしました。

ただ今から、上福岡市・大井町合併協定調印式を開会いたします。

私、本日の進行を努めさせていただきます、合併協議会事務局の渋谷と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

本日の調印式は、皆様のお手元にございます式次第に従いまして進行させていただきますので、よろしくどうぞお願い申し上げます。

それでは、ただ今から式を進めさせていただきます。

なお、開会にあたりまして、あらかじめご招待申し上げました上田知事様、古寺県議様につきましては、ただ今こちらの方に向かっているというご報告がございましたので、ご報告申し上げます。

それでは、はじめに、開式のことばを上福岡市の高沢清史助役の方から申し上げます。よろしくお願いいたします。

開式の辞(上福岡市助役 高沢清史)

本日は公私ともお忙しいところ、埼玉県知事をはじめ、地元県議会議員の皆様、また、合併協議会の委員の皆様、両市町の議会議員の皆様、の御出席を賜りまして、ここにめでたく調印式が開催できますことに対しまして、心より御礼を申し上げます。

それではただ今から、上福岡市・大井町合併協定調印式を開催させていただきます。

合併協議経過報告(合併協議会事務局長 渋谷弘次)

ありがとうございました。

それではこれから式の方に入りたいと思いますが、式次第の2にございます1市1町のこれまでの合併協議経過につきまして、御報告申し上げます。

これから御報告申し上げます項目につきましては、お手元に配布させていた

だいております合併協定調印までの経過と記しております資料がございますので、そちらの方を御覧いただきたいと思っております。

はじめに、上福岡市と大井町は隣接する自治体として共に豊かな自然環境に恵まれまして、また、通勤・通学等をはじめとする日常生活におきましても一体的な地域を形成しております。

さらに、行政分野におきましては、消防・衛生をはじめ、日常生活に直結する多くの分野におきまして共同して進めてまいりました。

そうした中、上福岡市と大井町との合併への取り組みの経過は、上福岡市長からの働きかけによります、昨年6月の上福岡市・大井町の任意合併協議会の発足でございました。

この任意協議会では、主に、主要な事務事業の調整方針やまちづくりビジョンにつきまして、6月の21日から9月の30日まで5回にわたる協議会を開催してまいりました。

そして、これらの協議の結果を受けまして、9月11日開催の第6回会議で、法定合併協議会への移行、このことが確認されまして、また、これを受けまして、同年10月に両市町の議会、臨時議会におきまして、議決をいただきました。

そして、11月1日付けで、委員26名で構成します、上福岡市・大井町法定合併協議会が設置されました。

その後、具体的協議を進めてまいった訳でございますが、以後、本日まで5回の協議会、そして、小委員会にあたります検討委員会を1回、それぞれ開催いたしました。

そして、大きな項目で言いますと、26の協定項目につきまして、協議確認を進めてまいりました。

この間に作成いたしました、項目の中の一つでございますが、新市建設計画、これにつきましては、埼玉県知事との協議を行いまして、その結果、異議の無い旨の回答をいただいたところでございます。

そして、本日用行われました第5回合併協議会におきまして、すべての協定項目の確認、決定をいただいたところでございます。

合併協定項目として確認されましたことから、ここに、本日、調印式を迎えることになったということでございます。

なお、詳細につきましては、お手元の資料を御参照いただきたいと思っております。

本日まで大変御尽力をいただきました、合併協議会の委員の皆様、そして、いろいろと御支援を賜りました、上福岡市議会の議員並びに大井町の議会議員の皆様におかれましては、大変御苦勞をいただきました。

また、その他の多数の関係者の方々にも、いろいろ御支援をいただきまして、この場をお借りしまして、深く、御礼と感謝を申し上げたいと思います。

以上をもちまして、経過報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

進行（合併協議会事務局長）

ただ今、知事さんが到着なさいました。

本日はお忙しいところ、ありがとうございます。

それでは、知事さんもお見えになりましたので、古寺県議さんがまだのようでございますが、時間の関係もございますので、これより、次第の3にございます、上福岡市と大井町の合併協定の調印を執り行いたいと思います。

恐れ入りますが、カメラをお持ちの方は、準備をしていただければと思います。舞台の方に上がっていただいても結構でございますので、よろしくお願ひしたいと思います。

この合併協定書は、合併協議会におきますこれまでの協議の結果をまとめたものでございまして、本日の調印はその内容を両首長間で確認する意味で執り行われるものでございます。

それでは改めまして、ここで調印していただきます方をご紹介させていただきます。

武藤 博 上福岡市長でございます。

そして、島田 行雄 大井町長でございます。

なお、この合併協定書は両市町用と合併協議会用ということで、計3部ございますので、3部とも、御署名をいただくようなかたちになります。

なお、この合併協定書につきましては、皆様のお手元に本日の資料として御用意させていただきましたので、御覧いただきたいと思います。

それでは、引き続き、署名の方、よろしくお願ひいたします。

《両首長署名》

進行（合併協議会事務局長）

ただ今、両首長さんの署名が終了いたしました。

引き続きまして、立会人署名をお願いしたいと思います。

この合併協定書の調印に、立会人として御署名いただきます方を改めて御紹介させていただきます。

まず、埼玉県知事 上田 清司 様でございます。

そして、上福岡市・大井町合併協議会委員を代表いたしまして、上福岡市議会議長 小高 時男 様でございます。

そして、同じく、協議会委員を代表しまして、大井町議会議長の高野 正得 様でございます。

なお、本来であれば、この場で出席していただいております合併協議会の委員の皆様にご署名をお願いするところでございますが、時間の関係もございますので、本日、この式典終了後に別会場におきまして御署名をいただくこととなりますことを、皆様に御報告申し上げます。

それでは、引き続きただ今、署名をお願いしておりますので。

《立会人署名》

進行（合併協議会事務局長）

ありがとうございました。

本日は知事様をはじめ、協議会委員の立ち会いと会場にお越しの多くの皆様方が見守る中、合併協定書への署名調印が滞りなく行われました。

それでは、署名を記念いたしまして、ここで、お写真ををお願いしたいと思います。

恐れ入りますが、武藤市長様、島田町長様には、御署名いただきました合併協定書を会場の皆様に御披露いただきたいと思います。

大変恐縮でございますが、協定書をお持ちいただきましてステージの中央にお進みいただきたいと思います。

報道関係の皆様、撮影を希望される方、どうぞ前の方へお願いしたいと思います。

ここで、合併協定調印を記念いたしまして、固い握手をお願いできればと思いますが、よろしくお願いしたいと思います。

《両首長握手》

ありがとうございました。

引き続きまして、埼玉県知事様にも御参加いただきまして、今一度、固い握手によります、確実な契りを結んでいただければと思いますので、恐れ入りますが、よろしく願いいたします。

それでは、今一度、固い握手をお願いしまして、皆様、大きな拍手をお願いしたいと思います。

《知事、両首長による握手》

ありがとうございました。

それでは、上田知事様、両首長さんにおかれましては、お席の方にお戻りいただきたいと思います。

それではここで、上福岡市長並びに大井町長から、ごあいさつをいただきたいと思います。

はじめに、武藤上福岡市長からごあいさつをちょうだいしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

武藤上福岡市長あいさつ

御紹介いただきました上福岡市長の武藤 博でございます。

上福岡市・大井町合併協定調印式にあたりまして、ひとこと、ごあいさつを申し上げたいと思います。

本日は、上福岡市と大井町の合併協定調印式を挙行いたしましたところ、上田県知事様をはじめ、御臨席の皆様には、公私ともお忙しい中を御出席いただき、大変ありがとうございました。

また、これまで、合併協議に向け御尽力いただきました協議会委員の皆様、そして、両市町の議員の皆様の立ち会いのもとに、調印式を迎えることができましたことは、まことに喜ばしいことであり、ここに、厚く御礼を申し上げます。

改めて皆様の御苦勞に対しまして、深く感謝を申し上げたいと思います。

さて、上福岡市と大井町は、通勤・通学圏、医療圏、商圈等すべての面において生活圏が一体となっている中で、さらに『合併して良かった』と言われるようなまちにしていかなければならないと思っております。

また、その信念のもと、任意協議会を立ち上げ、そして、法定合併協議会での具体的な協議を重ねてまいりました。

本日の調印に至るまでには、様々な課題もありましたが、そうした信念のもとに、その都度、真剣かつ活発な議論を交わし、共通の認識に立ち、理解を深めてまいりました。

本日の調印により取り交わしましたこの合併協定書は、まさに、合併協議に関わった皆様の、合併の実現に向けた確固たる信念の表れであります。

私たち市町長、議員の皆様、そして行政関係は、この地域のまちづくりに重い責任を共有しております。

今後、両市町の議会に合併関連議案を提案し、採決をお願いする予定ですが、本日の合併協定調印式で、私と大井町長が最終的に確認し、お示した合併協議の結果について、議会の皆様の御理解をいただくことを、切に願っております。

また、県に対しましては、これまでの私どもの取り組みに、多大な御支援をいただいておりますことに、深く感謝を申し上げるところでございます。

併せまして、今後、県議会での対応や、国への申請手続き等において、御支援を賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。

結びに当たりまして、知事さんをはじめ、本日御臨席の皆様、そして、関係各位におかれましては、引き続き、御指導、御鞭撻を賜りますようお願いを申し上げますとともに、本年10月1日、円滑に新市に移行できますことを、心から祈念いたしまして、ごあいさつとさせていただきます。

本日は大変御苦勞さまでございます。ありがとうございました。

進行（合併協議会事務局長）

ありがとうございました。

続きまして、島田大井町長さんから、ごあいさつをちょうだいしたいと思います。

よろしく願いいたします。

島田大井町長あいさつ

ひとこと、法定協議会副会長を仰せつかっておる立場から、ごあいさつを申し上げます。

本日、第5回の法定協議会の場におきまして、皆様方の今日まで協議を交わしてきた事項がすべて確認をされました。

本日こうして、上田知事さんをはじめ、関係御当局のそれぞれの皆様方の御参加をいただきまして、ただいま調印を滞りなく済ませさせていただきました。

本当に有り難く思っており、感謝を申し上げる次第でございます。

今日まで、様々な議論の中で、それぞれ一人ひとりの方々が、まさに胃の痛むような状況の中で、それぞれの立場で結論を出してきたというふうに思います。

さように、合併の問題というのは、大変難しい問題であります。

かえりみますと、この合併の問題は皆様方御存知のとおり、明治22年の大合併、そして、昭和30年であったと思いますが、昭和の大合併。そして、今回の平成の大合併。3度行われた訳でありますけれど、昭和の大合併の時に、くしくも、上福岡と大井町の合併の議論がございました。

その時には、残念ということであると思いますが、合併が成立しなかった訳でございます。

このたび、平成の大合併を迎えまして、武藤市長さんからの申し入れに対し、大井町の現状と、そしてまた、将来、この点を十分に考えながら、多方面への説明と御意見をお聴きしながら、結論を出そうと、日々、その努力をしてきた訳でございます。

考えますと、本当に感慨深いものがございまして、この結論が良かったのか悪かったのか、まず二つあると思いますが、一つは、歴史が証明するというふうに思います。

もう一つは、これからが、今私たちに与えられた正念場なのです。

我々は、合併の問題については、誰もが同じだと思いますが、まちを悪くしようと思って合併する人は誰もいないと思います。

今のまちを更に発展させるための方策として、合併の道を選んだというふうに思いますが、その住民の幸せを更に大きくするためには、これから、具体的にどういうまちをつくっていくのか、今まで、任意協議会、法定協議会で決めてきた内容を、十分に生かして、そして、将来、10年、20年、50年先の

将来を見つめて、しっかりと創り上げていかななくてはいけないその責務が、これから生まれたというふうに思っております。

従いまして、まだまだ最終的には議決という道がある訳でございますが、その議決を経て正式に合併、そして、県への届け出、国への届け出を行って、はじめて合併ということになりますけれども、その道筋が今日できたということで、本当に嬉しく思っております。

私どものこうした、武藤さんも上福岡の住民のために、頑張ってきた訳でありますし、私も同様の志をもって、この合併に取り組んでまいりました。

皆様方も同様であると思います。

その志を、これから大きく花を咲かせたいと思います。

今後とも、皆様方の御指導、御鞭撻を更に賜りますようお願いを申し上げます次第でございます。

上福岡市・大井町がこの日を契機に、更に更に、埼玉県の中で、大きく羽ばたき、また、私の念願であります日本一の市になれるように大きく御期待をさせていただきまして、私の副会長としてのごあいさつとさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。

おめでとうございます。

進行（合併協議会事務局長）

ありがとうございました。

続きまして、本日、大変御多忙の中、この調印式に御臨席をいただきました御来賓の皆様から、御祝辞をちょうだいしたいと思います。

はじめに、埼玉県知事 上田清司 様、よろしくお願いいいたします。

上田埼玉県知事祝辞

御紹介をいただきました上田清司でございます。

本日は、上福岡市と大井町が、厳粛かつ夢に満ちた明るい思いで、こうしてめでたく調印式に至りましたことを、心から敬意を表し、お慶びを申し上げます。

地方自治といえはる意味では、合併の歴史と言っても過言ではないと私は思っております。

今お話にもありました、明治の初年度には、七万六千ぐらいの市町村があり

ました。

明治22年の大合併で、一万六千ぐらいになり、そして、昭和の28年、29年この時期に、三千六百ぐらいだったのではないかと思います、そういう歴史を経ながら、今日、改めて、平成の大合併という思いが、いろいろな形で各市町村を動かしております。

言うまでもありませんが、渋沢栄一が実業家として東京で成功し、しばしば深谷の血洗島に戻った訳ですが、必ず、上尾だとか桶川とかで一泊して深谷にたどり着いておりました。二日間かかっておりました。実家に帰るのに。

そういう時代から今日の時代を見れば、生活圏の拡大というのは、基本的に大きな枠組をつくるという、そういう仕掛けではないかと思います。

私は現在、2027年の埼玉県を描いております。

なぜ描くのか、2027年には、構成上、埼玉県が日本で一番高齢者の多い県になります。

今は日本で最も若い県であります。

沖縄県に次いで若い、高齢者が最も少ない県でもあります。

しかし、これから20年後には、最も多い県にもなるという、その時どういうシステムを作っておけば良いのか、こういうことを考えなければなりません。

我々はともすると、2年3年までは良く見えますが、10年、20年という先はなかなか見えません。

しかし、人口の動態によって社会が動いていくということもはっきりしております。

あるいは、年齢の動態によって社会が動いていくということもはっきりしております。

そういう部分からいろいろな形で考えてこのたび、まさに、議会の皆様方とそして武藤市長と島田町長のリーダーシップの中で、今日の調印を迎えられ、そして、「健康・安心・生きがい」というテーマで新しいまちづくりを進めるとい、まさに、未来志向で結集されたということについて、大変ありがたいなと思います。

今の県の立場でいろいろ言えませんが、早稲田大学で特別講義を頼まれてまして、県の立場から市町村を見たら、とこういうお話でございました。

学生を眠らせないために、少し乱暴な言葉を使っておりました。

合併の歴史と、そして、残念ですけれども、県民の皆様から市民の皆様から

町民の皆様から税金をいただく立場、その中で行政の効率を上げる、例えば、千人の村であれば行政経費は一人いくらかかるのか。

八百万かかります。

五千人だったら百万円です。

二十万、三十万ぐらいの都市の場合が、だいたい二十万円から三十万円という行政経費です。

そして、多分、大井町も、あるいは上福岡市も、一人あたりの納税額は十万円前後だと思います。

しかし、現実にはそれ以上の行政経費がかかっている。

こういうこともやっぱり考えながら、少ないコストで最大の効果を上げていく、そういう仕組みをどんなかたちで作っていくのか、なおかつ、単に財政のつじつま合わせでなくて、夢と希望をもたらすことができるのかどうか、そういうことを私たちは考えなければならないと思います。

幸いこのエリアには、重鎮の古寺県議、また、現在、副議長として、大変将来を囑望されておられます近藤副議長、こうした県とのつながりもしっかりとした形で持っておりますので、是非、県は県の立場の中で、一所懸命市町村の支援をさせていただきたいと思っております。

今日をまた機会に、まだまだ最終的な詰めも残っているのではないかと、こんな思いもございます。

今日をまた機会に、より、多くの方の心を結集して、新しいまちづくりを進められますことを心から御期待申し上げまして、お祝いにかえさせていただきます。

本日は、おめでとうございます。

進行（合併協議会事務局長）

上田知事様、大変ありがとうございました。

続きまして、地元の県議会議員様から御祝辞を賜りたいと思います。

はじめに、埼玉県議会副議長であります、近藤善則様から御祝辞をちょうだいしたいと思います。

近藤様、よろしく願いいたします。

近藤県議会議員祝辞

皆様、本日は、上福岡市・大井町の合併協定調印式が埼玉県知事、そして、上福岡市議会議長並びに大井町議会議長を立会人として、ただ今調印されました。

まことにおめでとうございます。

ここまでに至るにつきましては、関係者各位の御尽力をいただき、この合併という調印式になった訳であります。

そういった方々に対しましても、敬意と感謝を改めて申し上げます。

この上福岡市と大井町が合併しましても、人口は十万強、面積で言いますと埼玉県の中でも5番目ぐらいという大きさになるかと思えます。

ということは、まだまだ小さい市であり、人口的にも十万という小さな市に該当するかと思えます。

そういった中で、隣の川越、所沢と肩を並べていくためには、これから大井町と上福岡市が合併するにあたって、力を合わせてすばらしい市をつくるということで、ここにいらっしゃるみなさんの更なる御尽力がなければ、そういうすばらしい市にすることはできないと思えます。

これからが本当のまちづくりのスタートにあたりますので、是非とも御臨席の皆様、そして、大井町民、上福岡市民が一体となって、すばらしいまちができますよう、みなさんの御支援、そして、市民に対するピーアール、町民に対するピーアールをみなさんの仕事としてやっていただきたいというふうに考えております。

先ほど知事がお話ししましたように、埼玉県も合併につきましては、積極的に支援しております。

自主的に合併するところにつきましては、埼玉県は支援、応援するというかたちをとっておりますし、県議会としても皆さんの意志を尊重して、すばらしい市ができますように応援させていただきたいと思えます。

本日を機会に、この地域に新しい市ができますことを、それが、すばらしい市になることを御祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日はおめでとうございます。

進行（合併協議会事務局長）

近藤副議長様、ありがとうございました。

続きまして、同じく、地元の県議会議員であります、古寺五一様から御祝辞をちょうだいしたいと思います。

古寺様、よろしく願いいたします。

古寺県議会議員祝辞

皆様、おめでとうございます。

御紹介いただきました古寺でございます。

今日は上福岡市・大井町の協定調印式に御案内いただきまして、大変ありがとうございます。

また、厳粛なうちにこの調印式が開催できますことに対しまして、心からお祝いを申し上げる次第でございます。

先ほどからいろいろお話がございますけれども、私は今、この明治、昭和、また、平成の大合併で、この地域としての大きなまちづくりの第一歩だと思っております。

そして、このまちの如何によりまして、近隣の2市2町でございますけれども、またこれを、大きく巻き込むようなすばらしい市になっていただきたい。

かように、お願いを申し上げる次第でございます。

国では、これからですね、道州制というものを取り入れる時期がくるのではないかとわれております。

やはり、そういう面を考えた時に、私どもが今、この地域のこの市を、どのようなかたちで仕上げていくかということは、大きな課題でもあります。

是非皆様方にもその面を十分に御理解いただきまして、すばらしい市になりますように、心から御期待と御祈念を申し上げますとともに、皆様方の御健勝を併せて御祈念申し上げまして、まことに簡単ではございますが、お祝いの言葉にかえさせていただきます。

本日は、大変おめでとうございます。

進行（合併協議会事務局長）

古寺県議様、ありがとうございました。

御来賓の皆様には、本調印式に花を添えていただきまして、大変ありがとうございました。

皆様の御協力をもちまして、合併協定調印式も滞りなく進んでまいりました。

それでは、最後になります。閉式のことばということで、大井町の北村政夫助役から申し上げます。

よろしく願いいたします。

閉式の辞（大井町助役 北村政夫）

本日は大変お忙しい中、上田知事さんはじめ、たくさんの御来賓の皆様方に御出席をいただきまして、まことにありがとうございました。

長年にわたりまして、皆様方の御協力をいただき、本日、歴史に残る調印式を滞りなく行うことができました。

今後、両市町の議会の議決、県議会の議決等を経まして、本年10月1日の新たな市の誕生となる訳でございますが、私どもは、鋭意、その準備に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様方には、多大な御支援、御協力を賜りたいと存じます。

それでは、以上をもちまして、上福岡市・大井町の合併協定調印式を閉じさせていただきます。

まことにありがとうございました。

進行（合併協議会事務局長）

ありがとうございました。

会場の皆様には、長時間にわたりまして大変ありがとうございました。

それでは、お忘れものなどございませんように、よろしくお願い申し上げます。

なお、合併協議会の委員の皆様におかれましては、この後、上福岡の公民館3階、隣になります。その第3会議室におきまして、合併協定書への署名をお願いしたいと思います。

協議会事務局職員が御案内申し上げますので、会場へお運びくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日は大変ありがとうございました。